

優秀賞（y a b山口朝日放送賞）

すこやか育ち隊

代表者 井出崎 小百合（地域づくり分野／山口市）

活動の動機・目的

「山口でいつでも安心して小児医療を受けられる環境を守る」ということを目的に活動。

2007年頃から夜間救急時や妊婦のたらいまわしなどで医療崩壊について世間の注目が集まるようになり、当初、医療崩壊は医療従事者と行政のみで語られ、コンビニ受診や救急車をタクシー代わりに使う等、患者側のモラルの問題が大きいと報道されていた。医療崩壊、医師不足は山口県も例外ではなく、かかりつけ医、二次救急医療病院、三次救急医療病院と役割分担がされ、地域医療を守る仕組みが作られた。しかし、情報が届かず従来のように、「24時間いつでも、診てくれるだろう」という患者側の姿勢は変わらず、今でもその傾向にある。私たちは、まずは「患者側も課題解決のために同じステージで考えたい」という想いから発足。

活動の内容

地域医療の状況がどうなっているのか、本当に患者側のモラルの問題で医療崩壊が起こっているのかを知るために、ワークショップを重ねたり、山口市以外の医療の現状と仕組みを調べ、比較。その中から気付いたこと、自分たちができること、やるべきこととして、ホームケア講座や仕組みや現状を伝えるための講座、ブログやリーフレットによる啓発活動を実施。

①啓発事業

○定例会（座談会）開催。テーマ等の話し合いや、講座の準備等の打ち合わせ。

○ブログ、リーフレットで小児の救急医療の仕組みや休日当番医などお知らせ。全国の市民活動グループと繋がり、各地域の現状と課題を寄稿していただく。

②講座事業

○小児救急医療を守る！Dr. カフェを年1回開催。

Dr. カフェは、子どもが病気の時の対処方法を学ぶ会ではなく、医師（小児科、歯科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、助産院の助産師等）と市民が対話することで、お互いへの理解を深め同じ市民として安心して暮らせる山口市になっていくことを願い実施。

○ホームケア講座の実施。

小児科医に協力していただき、子どもの病気について学ぶ講座の実施。

○その他

保護者にとって興味関心が高い内容の講座を実施。集まった保護者に対し、すこやかのリーフレットを配布し、仕組みを伝えたり子どもの病気についてのワークショップを行っている。

③広報事業

ブログ、広報紙にて活動報告、告知事項等の発信。

④その他事業

山口赤十字病院、小郡第一総合病院の各小児科病棟へ絵本の寄贈。

これからめざしたいこと

①小児医療に関する問題解決のために、市民として現状改善の努力をする。

②医療従事者・行政・市民、それぞれの声を吸い上げ活かしていく。

③小児医療について課題解決のための活動を実施継続する。

Dr.
カフェの
様子



絵本
の贈呈

